



賢く 優しく 逞しく

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/>

4月号・令和6年4月10日発行
武蔵村山市立第五中学校

生命尊重や思いやりの心を大切にしている学校を目指して

校長 榎戸 千代子

入学、進級おめでとうございます。

桜花爛漫の好季節となりました。令和6年度は、新入生178名、2年生167名、3年生188名、全校生徒533名、15学級で出発します。本校は創立44年目を迎えます。これまでの歴史と伝統を受け継ぎ、さらに発展できるように全力を尽くしてまいります。

今年度の学校経営方針にある、「目指す特色ある学校像」は、「生命尊重と思いやりの心を大切に、仲間とともに学び成長することができる学校」といたしました。これは、本校が令和6、7年度の2年間にわたり、市の「特色ある学校づくり推進校」に指定され、研究を進めていくための研究テーマにもなります。人権尊重教育や道徳教育に力を入れ、1年生は、「子供（いじめ）、高齢者」、2年生は「障がい者」、3年生は「国際理解、SDGs」を中心に、様々な人材を活用した講演会や体験活動、小学校や地域と連携したボランティア活動などを取り入れ、「自他の生命を尊重し、思いやりの心もった生徒を育てていきます。また、今年度も五中校区の二小、八小、十小と連携して、児童会・生徒会交流や教職員の合同研修を充実させ、9年間を見通した子供の育成を図ってまいります。さらに、コミュニティ・スクールとして、保護者・地域の皆様との連携もより一層深め、「チーム五中」として取り組んでまいります。

令和6年度 学校経営方針

◆ 本校の教育目標（目指す生徒像）

- 正しく判断でき主体的に実行できる生徒（賢く）
- ◎ 互いに助けあい思いやりのある生徒（優しく）
- 身心をきたえ何事もやり通す生徒（たくましく）



◆ 目指す特色ある学校像

「生命尊重や思いやりの心を大切に、仲間とともに学び成長することができる学校」

- (1) 生徒一人一人が学力と体力の向上に主体的に取り組み、豊かな個性と能力の伸長を図る。
- (2) 仲間とのよりよい人間関係や集団生活を大切に、豊かな心と社会性を育む。
- (3) 地域を知り、地域に貢献する活動を通して地域や社会の一員として生きていく自覚を高める。

◆ 経営の主な具体策 ※詳しくは4月の保護者会で資料をお配りし、説明します。

第五中学校は、「明るい笑顔とあいさつ、周囲への気配り」のできる生徒、教職員、学校でありたいと思っています。そして、ここで学ぶ五中生は「宝」であり、その大切な「宝」である生徒一人一人の無限の可能性を引き出し、輝かせるために、教職員一同一致団結し、「チーム五中」として教育活動を進めてまいります。生徒にとって「お互いに切磋琢磨し成長できる学校」、保護者にとって「安心して任せられる学校」、地域にとって「誇れる学校」、教職員にとって「やりがいのある学校」を目指して今年度も工夫・改善に努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。